

枠組壁工法向け遮音床

ACTサイレントフロアシステム



枠組壁(2×4)工法向け 高性能遮音床

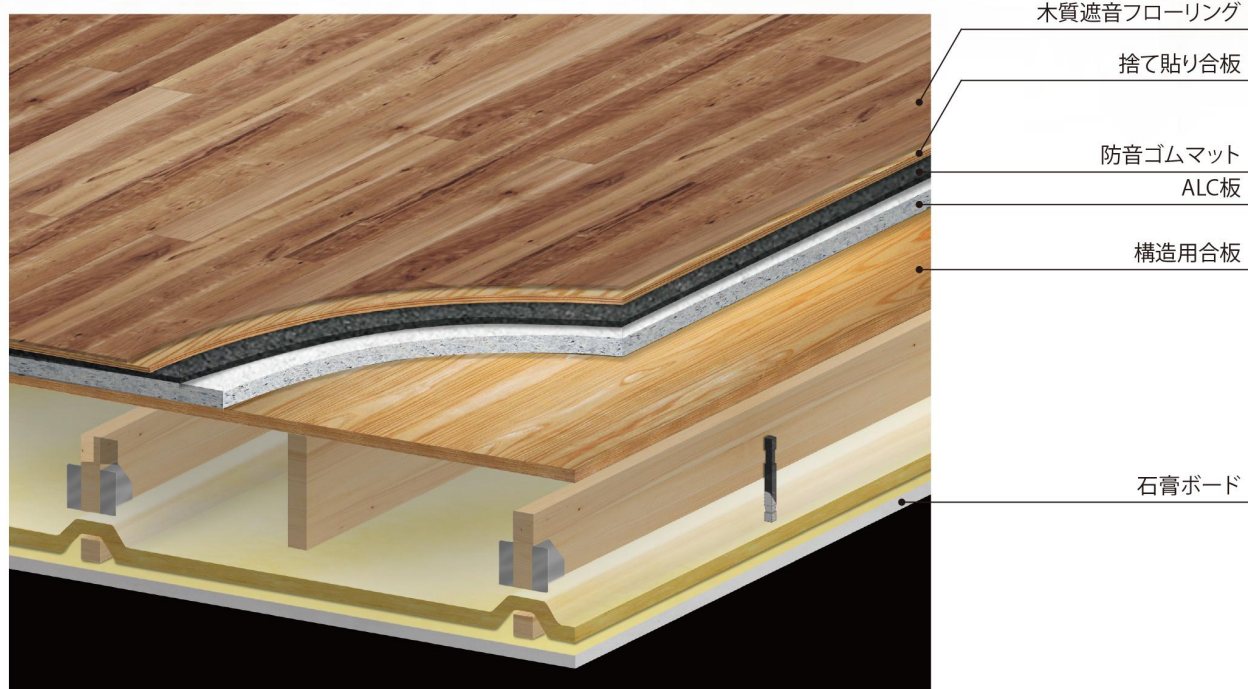
賃貸、2世帯、高齢者専用住宅など現代には多様な住まい方があります。

そんな多様な住まい方の中で、私たちのライフスタイルもさまざま。

特に、夜に騒いだりして階下に音が筒抜けしてしまわないかと気がかり…

でも、遮音さえしっかりしていれば自分たちのライフスタイルにあった居場所を確保することができます。

当社の高性能遮音床システムは、特に問題となっている走ったり、飛び跳ねたりする重量床衝撃音を大幅に軽減します。



特徴

1. 優れた耐火性

合板の上に床用ALC板(厚さ35mm)を使用することで、省令準耐火構造の仕様となります。

2. 優れた床の遮音性能

勉強部屋、寝室、2世帯住宅など、用途に応じた遮音床の要求にお応えします。

3. 乾式の床工法で工程管理は楽々

「ALC板」「防音ゴムマット」を中心とした乾式の床工法のため、湿式材料よりも施工管理や乾燥期間などの手間や時間が省け、工期が短縮されます。

材料販売

材工販売



床用ALC板



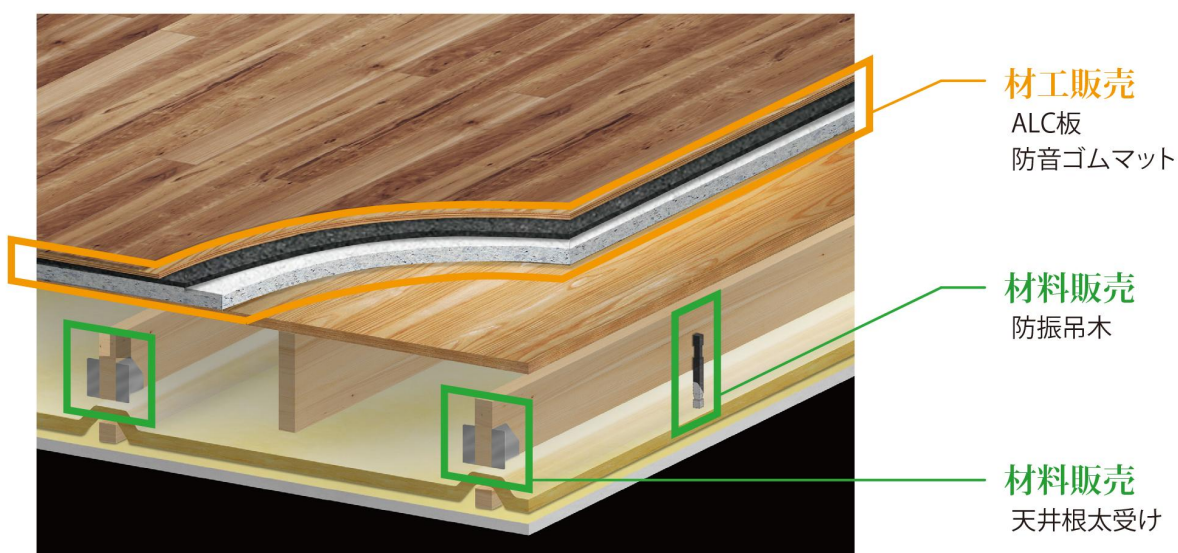
防音ゴムマット



天井根太受け



防振吊木



材工販売

ALC板
防音ゴムマット

材料販売

防振吊木

材料販売

天井根太受け

LH値（重量床衝撃音）

LL値（軽量床衝撃音）

LH-50	等級5 ★★★★★	高性能床遮音システム (LL-40)	LL-45
LH-55	高性能床遮音システム (LH-55) ★★★★	4ランク以上 UP!	LL-50
LH-60	3ランク以上 UP!		LL-55
LH-65	ALC板 ★★★		LL-60
LH-70 以下	直張天井工法 省令準耐火 等級1 ★	ALC板 (一般木質フローリング仕様) 直張天井工法 (一般木質フローリング仕様) 省令準耐火 (一般木質フローリング仕様)	LL-65 以下

重量床衝撃音遮断性能

軽量床衝撃音遮断性能



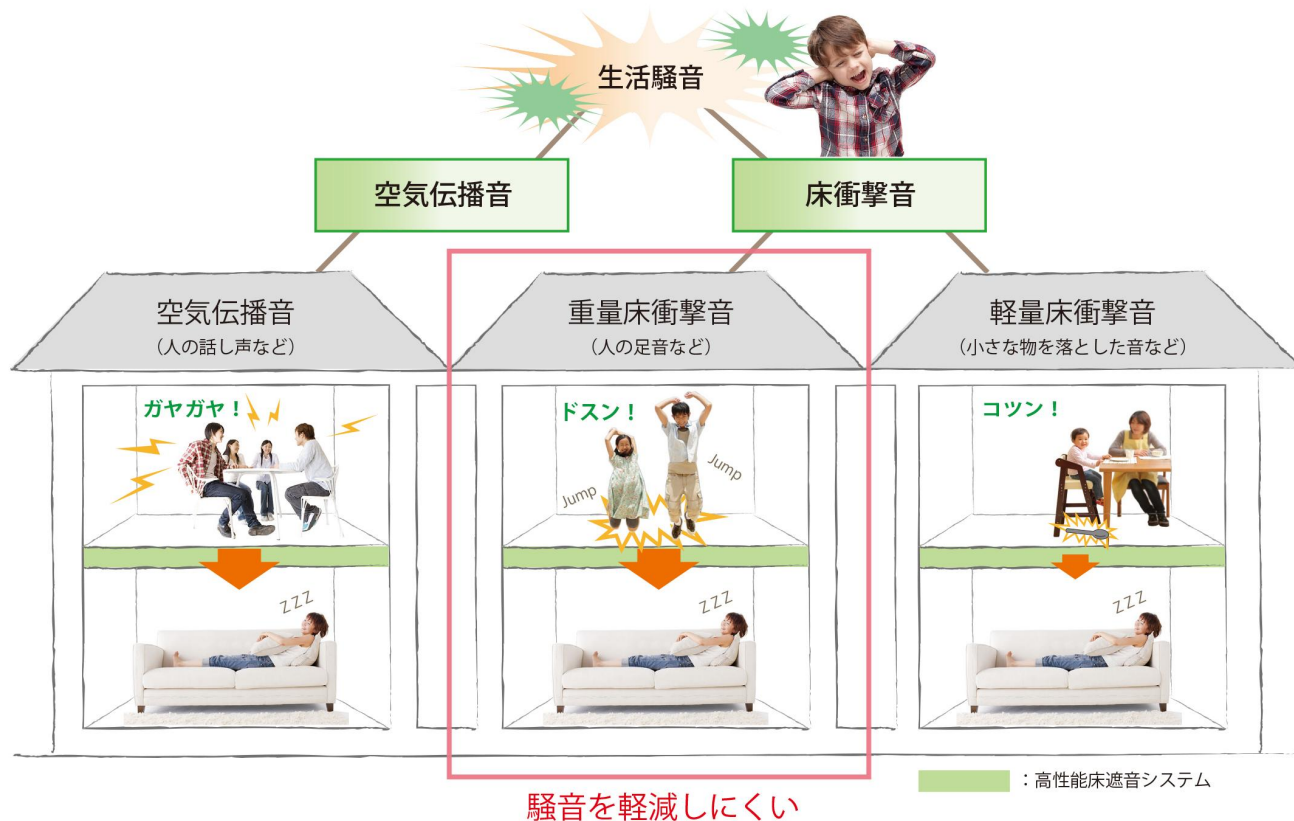
重量床衝撃音測定風景



軽量床衝撃音測定風景

“重量床衝撃音”を軽減

木造住宅では、空気伝播音や軽量床衝撃音などの騒音は軽減しやすいのですが、階上の足音などの重量床衝撃音を軽減することは難しく、特に共同住宅では問題になることが多くなっています。



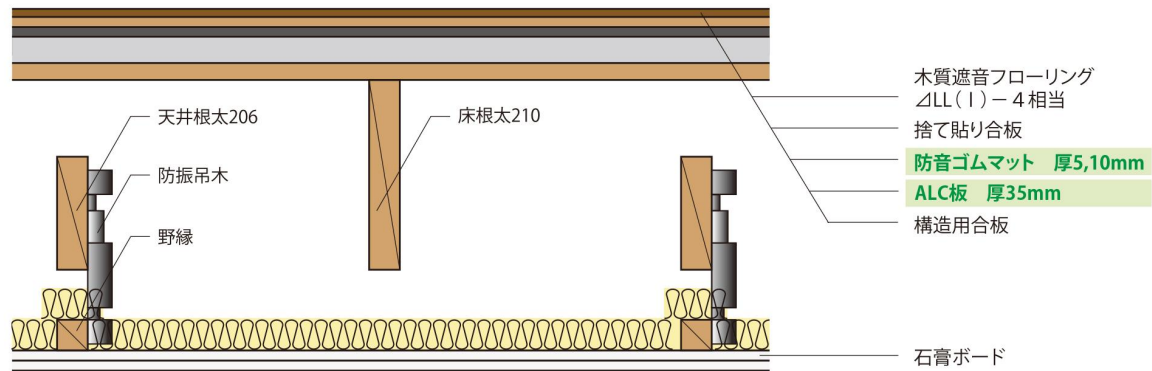
従来対策モデル

直張天井工法	省令準耐火構造	ALC板仕様
一般木質フローリング 12mm 合板 厚15mm 床根太210 石膏ボード 厚12.5mm 床根太へ直張り	一般木質フローリング 12mm 合板 厚15mm 天井根太206 床根太210 石膏ボード 厚12.5mm	一般木質フローリング 緩衝材付きフローリング、カーペット敷 厚7mm クッションフロア敷、量敷 ALC/パネル 厚35mm以上 構造用合板 厚15mm 又は構造用パネル 厚15mm 床根太210 野縁30mm×40mm 石膏ボード 厚12mm×2 又は強化石膏ボード 厚15mm 吊木30×40 吊木受208 ロックウール 厚50mm (40kg/m³) 以上 又は グラスウール 厚50mm (24kg/m³) 以上
重量 LH-80	重量 LH-70	重量 LH-65
軽量 LL-70 ^{※1} / LL-45 ^{※2}	軽量 LL-70 ^{※1} / LL-45 ^{※2}	軽量 LL-65 ^{※1} / LL-45 ^{※2}

※1 一般木質フローリング仕様
※2 木質遮音フローリング仕様

ACTサイレントフロアモデル 独立天井根太仕様

ALC板 + 防音ゴムマット仕様



重量

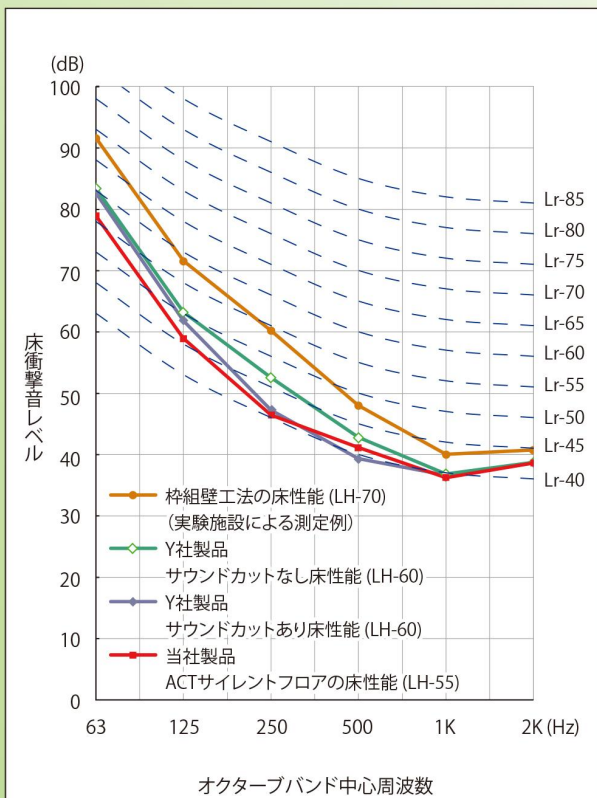
LH-55 (タイヤ)

LH-50 (ボール)

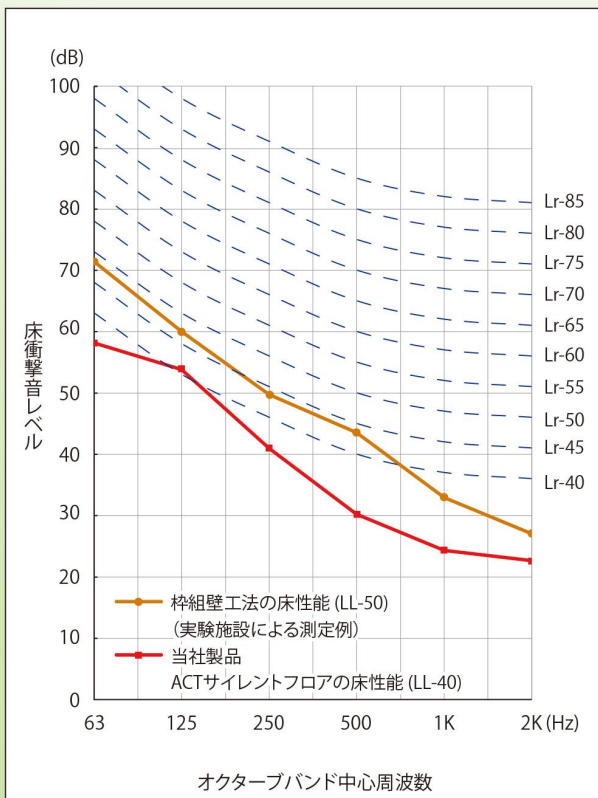
軽量

LL-40

重量データ LH-55 (タイヤ)



軽量データ LL-40



当該モデル(独立天井根太仕様) 床衝撃音実測データ

材料

床用ALC板

- 床衝撃音だけでなく、空気伝搬音に対する遮音にも効果を発揮します。
- 防火性能に優れており、準耐火構造の被覆材として指定されています。

規格	JIS A 5416 軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル)
寸法	幅 606 × 長さ 1,820 × 厚さ 36 mm 幅 606 × 長さ 2,000 × 厚さ 36 mm
重量	22 kg/m ² (気乾)



防音ゴムマット

- 主に重量衝撃に対して、防振効果が得られます。
- 適度な空隙が空気伝播音の吸音効果を発揮します。

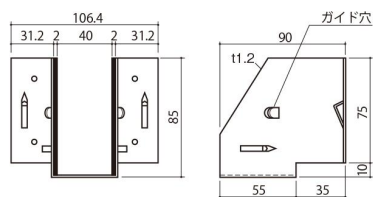
寸法	幅 910 × 長さ 910 × 厚さ 5 mm 幅 910 × 長さ 910 × 厚さ 10 mm
重量	約9 kg/枚 (比重1.1)



天井根太受け

- 本体に取り付けられたゴムが階下への振動を伝えにくくします。
- 吊木根太間でハンマーが振れるよう斜め方向より釘が打てるように設計されています。

■ 仕様図



防振吊木

- 振動を吸収して衝撃音を低減することができます。
- 2階の床から1階天井へ梁などの構造材を通して伝達する固体音を制御します。

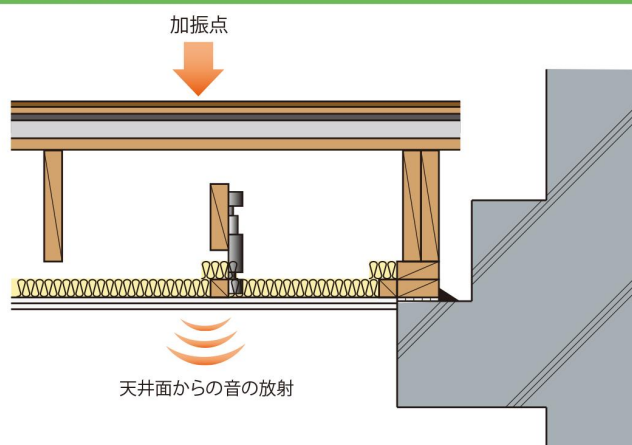


注意事項

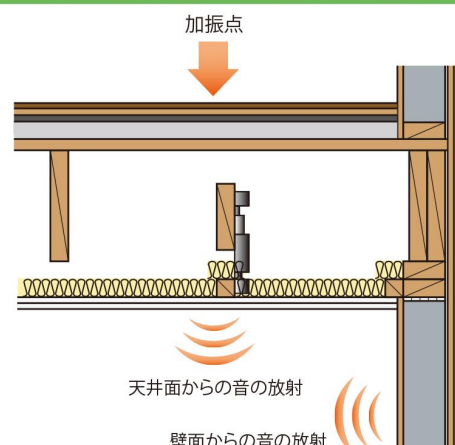
床遮音性能値について

- 当カタログ記載の床遮音性能値は、2階床と1階天井を合わせた構造について、左図の音響試験室で、試験体がまわりの建築構造体(柱・梁など)とは絶縁した状態で測定した数値であり、実際の部屋での測定条件とは異なっております。したがってカタログ記載の床遮音性能値は、実施の部屋での遮音性能を保証するものではありません。
- 実際の部屋では右図のように、建築構造体(柱・梁など)から振動が伝播し、壁面からも音が放射します。また、床面の大きさ、階下の部屋の大きさなどのほかの要因で遮音性能が大きく変わる場合もありますので、ご注意下さい。

音響試験室



実際の部屋での建築構造体の音の伝播



- 当カタログ記載の床遮音性能は、音響試験室での性能で示しており、実際の部屋では、床面の大きさ、階下の部屋の大きさ、床と壁の構造体の仕様、階下の部屋の家具の設置状況などによって、試験室の数値と大きく変わる場合がありますので、ご注意下さい。

その他

- 高性能床遮音システムは、木造軸組工法にも遮音効果を発揮します。**梁の仕様により、遮音性能値は異なります。**また、木造軸組工法の場合の遮音性能値はLH-60程となります。

- 評価尺度と住宅における生活実感との対応の例

遮音性能 (LH)	重量床衝撃音 (人の走りまわり、飛び跳ねなど)	遮音性能 (LL)	軽量床衝撃音 (イスの移動音、物の落下音など)	生活実感、プライバシーの確保
LH-45	聞こえるが、意識することはない	LL-45	小さく聞こえる	・上階の生活が多少意識される状態 ・スプーンを落とすとさすがに聞こえる ・大きな動きがわかる
LH-50	小さく聞こえる	LL-50	聞こえる	・上階の生活状況が意識される ・椅子を引きずる音は聞こえる ・歩行などがわかる
LH-55	聞こえる	LL-55	発生音が気になる	・上階の生活行為がある程度わかる ・椅子を引きずる音はうるさく感じる ・スリッパ歩行音が聞こえる
LH-60	よく聞こえる	LL-60	発生音がかなり気になる	・上階住戸の生活行為が分かる ・スリッパ歩行音がよく聞こえる
LH-65	発生音がかなり気になる	LL-65	うるさい	・上階住戸の生活行為がよく分かる

※「建築物の遮音性能基準と設計指針」日本建築学会編 1999 より抜粋



建設業許可国土交通大臣許可第8470号

旭コンステック株式会社

本社 〒490-1296 愛知県あま市乙之子八反田12
中部事業部 ☎ 052・445・2022 📠 052・445・2023

東京支店 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-18
ユニゾ東日本橋ビル5F
☎ 03・3639・3340 📠 03・3639・3343

北陸営業所 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町三丁目16-30
☎ 076・255・1417 📠 076・222・1418

<http://product.asachunet.co.jp/>

2017.03